

古いけれども古びない、歴史があるから新しい。

第14回 京都大学人文科学研究
所
T O K Y O 漢 籍 S E M I N A R

概念装置 という

仙薬
仙界
仙術

延年益寿のアルケミー

京都大学人文科学研究 所 教授 武田時昌

『幽明録』にみえる洞窟のはなし

専修大学経済学部 教授 土屋昌明

飛行する仙人

大阪府立大学人文科学系 教授 大形 徹

2019年3月11日[月] 10:30
16:00

聴講無料・要申込み

会場／学術総合センター内 一橋大学一橋講堂中会議場
(千代田区一ツ橋 2-1-2)

聴講ご希望の方は、右記URLのフォームからお申し込みいただくか、「漢籍セミナー申し込み」と明記し、氏名・連絡先(住所・電話番号・E-mailアドレス)をご記入の上、ハガキまたはE-mailでお申し込みください。**[2月28日(木)17:00必着]** 受講票(ハガキ)をお送りいたします。(2月下旬から順次発送)

京都大学人文科学研究 所
附属東アジア人情報学研究センター

〒606-8265 京都市左京区北白川東小倉町 47

[E-mail] kanseki-tokyo@zinbun.kyoto-u.ac.jp

[URL] <http://www.kita.zinbun.kyoto-u.ac.jp/2019-kanseki-tokyo>

○詳しくは裏面をご覧ください。



概と 念装置

— 仙薬・仙界・仙術



● 今回の概要

東洋的な人生観、処世術に、道家の唱えた超俗の思想がある。その開祖、老子は、反文明、脱エリート主義を徹底した「虚無」の哲学者。中国の二ヒリストとして知られているが、同時に天寿を全うすることに人生最大の価値を見出す「長生の哲学」を唱えた。彼の弟子である彭祖やその追隨者は、多種多様な長生の技法を考案し、延年益寿を実践的に追求した。老彭の長生思想は、民衆の不死願望と結合し、不老不死の仙人を理想とする神仙思想を流行させた。中世、近世には、道教文化とその周辺に「仙」をめぐるユニークな信仰や修養法を生み出し、医薬、占術から文学、技艺に至るまで大きな作用を發揮した。そこで、「仙」という概念装置（パラダイム）が俗流空間になにをどのように発生させたのかを窺いながら、タオイズムの想像力。中国的思考様式の特徴を探る。

●参加定員 / 200名(申し込み順)

*定員を超えた場合はお知らせします。

●申し込み期限 / 2月28日(木)17:00 必着

*申し込みの詳細は表面をご覧ください。

●プログラム

司会 古勝隆一 (人文科学研究所准教授)

10:30~10:45	◎開会挨拶	東アジア人文情報学センター長 岡村秀典
10:45~12:00	◎講演	仙薬：延年益寿のアルケミー 京都大学人文科学研究所 教授 武田時昌
12:00~13:10	◎休憩	
13:10~14:25	◎講演	仙界：『幽明録』にみえる洞窟のはなし 専修大学経済学部 教授 土屋昌明
14:25~14:40	◎休憩	
14:40~15:55	◎講演	仙術：飛行する仙人 大阪府立大学人文科学系 教授 大形 徹
15:55~16:00	◎閉会挨拶	

*講演時には質疑応答時間を含まず

●会場 / 学術総合センター内(千代田区一ツ橋2-1-2)
一橋大学一橋講堂中会議場



- 会場への交通機関
- ・東京メトロ半蔵門線
- 都営地下鉄三田線・新宿線
- 「神保町駅」A8出口より徒歩5分
- ・東京メトロ東西線「竹橋駅」
- 1b出口より徒歩5分
- 都営新宿線
- 都営三田線
- 東京メトロ半蔵門線
- 東京メトロ東西線
- 高速道路